



これ以上には無いというほど贅沢なホテルを想像してみてください。朝昼晩と豪華な食事が用意されています。日中はプールや娯楽室などで好きなように過ごせます。夜はキングサイズのベッドで柔らかなシーツにくるまれて眠ります。にこやかなスタッフがいつも控えていて、どんな要望にも喜んで応えてくれます。そこでは、誰とでも好きな人と過ごすことができます。そして何といても最高なのは、全て無料ということです。ただ、ひとつだけ条件があります。一度チェックインすると、永久にそのホテルを出ることはできません。あなたはチェックインしますか？

ほとんどの人がNoと答えるのではないのでしょうか。最高の条件のように聞こえますが、なぜNoなのか。それは「選択の自由」ということに関わってきます。

これは先週、NHK教育テレビで放送された「コロンビア白熱教室」の内容です。「選択」とは何なのかについての講義でした。本も出版されていたので、さっそく購入し、今読んでいます。「社長の平均寿命は、従業員の平均寿命よりも長い。その理由は、裁量権つまり選択権の大きさにある。」「動物園の動物の寿命が、野生の動物よりはるかに短いのは、「選択」することができないから。」「けれど、何もかもが決められている原理主義的な宗教に属する人ほど鬱病の割合は少ない。」「わが子の延命措置をするか否かの究極的選択。判断を親がするより、医者に委ねたほうが、後悔は少ない。」「スーパーで品揃えを豊富にすると、売り上げは逆に下がる。」「人は他人と同じに見られたくないため、あえて、不利益な選択をしてしまう。」といった内容です。

興味深い実験例がありました。少し残酷でショックを受けるようなものですが、数十匹のラット（動物実験用のネズミ）を一匹ずつガラスビンに入れ、ビンを水で満たします。ビンをよじ登ることはできないので、溺れるか泳ぐかの状況です。体力が等しいラットが泳いだ時間にはなぜか大きな個体差があったそうです。そこで次の実験で、ラットをすぐに水に投げ入れることはせず、何度かつかまえ、水をかけ、逃がすということを繰り返した後、「溺れるか泳ぐか」のテストをしてみました。するとあきらめる気配を見せるラットは一匹もいなかったそうです。

動物に「あきらめない」という意思や信念があるとは考えがたいです。著者は「ラットが疲労が募るなか、これといって逃げる方法もないのに泳ぎ続けたのは、必死の努力を通じて手に入れた自由を、前に味わっていたからこそだ。」とまとめていました。「選択」とは何なのか？それは、自分自身や、自分の置かれた環境を、自分の力で変える能力のことだと著者は言っています。選択するためには、まず「自分の力で変えられる」という認識を持たなくてはならないそうです。

これが書かれている章を読んだとき、動物実験の話なのに、自分自身にも当てはめていました。様々な経験を積むことの重要性を再認識しました。

(参照：シーナ・アイエンガー『選択の科学』)

1年3組担任 H

※ 学年末考査まで4日です。1年最後の締めくくりのテストになります。科目数も多いので、計画的に学習に取り組み、ベストを尽くしてください。

<学年末考査時間割> ※20(月)~24(金)朝課外中止

	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)
1	国総①	数学(前)	理科総合A	現代社会
2	情報A	家庭基礎	OC I リス	数学(後)
3	英語 I	保健	国総②	

週行事予定表 (2/18~3/4)

月	日	曜	行事予定	課外	
2	18	土	土曜講座(第4週時間割)		8:10着席
	19	日			
	20	月		×	8:20着席
	21	火	学年末考査 第1日	×	8:20着席
	22	水	学年末考査 第2日	×	8:20着席
	23	木	学年末考査 第3日 12:10~来年度身分証明書用個人写真撮影	×	8:20着席
	24	金	学年末考査 第4日 、卒業式の歌の練習②	×	8:20着席
	25	土	国公立大前期試験		
	26	日			
	27	月		C	7:25着席
	28	火	各種委員会	C	7:25着席
	29	水	卒業式準備・予行 同窓会入会式	C	7:25着席
3	1	木	第64回卒業式	×	8:20着席
	2	金		C	7:25着席
	3	土			
	4	日			